

IMF の歳入・歳出

IMF、金の「市場」での売却を開始



IMF サーベイ・オンライン 2010年2月17日

IMF は昨年 403 トン強の金の売却の意向を発表したが、IMF の金の売却に対する公共部門の関心は高いものとなった。(写真: Newscom)

- IMF、金市場での金の売却を開始
- 今後の売却も透明性を維持しながら実施
- 市場の混乱の回避が最重要事項

国際通貨基金 (IMF) は、これまで数カ国の中央銀行に対し 212 トンに及ぶ金を売却したが、これに引き続き、金市場での売却を進めることになった。金市場での売却は、市場の混乱を防ぐため段階的に行われる。

2009年9月、IMF 理事会は合計 403.3 トン (12,965,649 トロイオンス) の金の売却を承認した。既にその半分以上が数カ国の中央銀行に売却されており、IMF は残りの 191.3 トンの売却を開始する。

IMF は、その資産の相当な割合を引き続き金で保有することになる。この度、総量 403.3 トンを全て売却した場合、IMF の保有金量は約 8 分の 1 減少することになる。

アンドリュー・トゥウイーディ IMF 財務局長は「金を売却するにあたっての最重要事項は、金市場の混乱を回避することだ」と述べた。「金市場でのあらゆる売却に先立ち、第一に関心を示した中央銀行との間のみで売却を行い、公共部門の間で金の移動が行われた。そして IMF は残りの金の市場での売却を開始するが、これは段階的に行うことになる」

現時点までの売却

IMF の金の売却に対する公共部門の関心は高く、これまで 212 トンが売却されその売却益は、約 72 億ドル・45 億 SDR 超となっている。これらは先着順ベースで関心を示した中央銀行 3 行に対し、市場価格に基づいて売却された。

公共部門のみを対象とした売却期間は終了したが、IMFは引き続き公共部門から金購入について関心が示された場合対応していく。

IMFの金売却

IMFが金の売却を開始すると発表した9月以来、これまでに212トンが売却された。

購入者	売却量	売却日(2009年)
インド準備銀行	200トン	10月19-30日
モーリシャス銀行	2トン	11月11日
スリランカ中央銀行	10トン	11月23日
出典: IMFスタッフ		

過去数十年で最大規模の金の売却

インド準備銀行（RBI）に対しては200トンの売却が行われたが、これは一部の市場解説者によると、金の単発取引としては過去数十年で最大規模のものであり、67億ドル・42億SDR相当の売却益をあげた。

取引量の規模を鑑み、買い手・売り手双方の金価格の短期的変動からの保護を目的に、取引は2009年10月19～30日の2週間に渡り連日行われた。また各日の取引は当日の市場の一般価格に基づき実施された。

モーリシャス銀行並びにスリランカ中央銀行に対する金の売却は1日で行われ、各々11月11日と23日に実施された。

IMFの金売却の目的

2009年9月18日IMF理事会は、403.3トンに限定し金の売却を承認したが、その目的は以下のようになっている。

新規歳入モデルの生命線: IMFの新規歳入モデルは、アンドリュー・クロケット氏を委員長とした、[賢人委員会の提言](#)に基づいたもので、IMFの一般管理費を賄う上で、貸付による収益への依存の低減を図ったものである。IMFの多岐に渡る機能に相応すべく、その収入源を多様化することを意図したものであり、その中核となる

が金の売却益を活用した基本財産の形成である。この基本財形はその公共性に見合った形で投資される。

低所得国の利益に: 2009年 IMF は、世界危機による強い打撃を受けたアフリカ諸国を主とする低所得国への融資に向け、2014年までに170億ドルを動員することに同意した。IMF がこれまで以上に低金利の融資を行う上で係るコストをカバーするため、15億 SDR 相当の新たな補助的資金を確保するとして、上記の金売却にまつわる財源を含む IMF の一連の融資政策が承認されている。

モーリシャス銀行との取引での売却益は7,200万ドル相当（4,500万 SDR）、スリランカ中央銀行との取引では3億7,500万ドル相当（2億3,400万 SDR）相当に上った。

透明なアプローチ

IMF は正式な売却が行われた際、取引の完了直後に公に発表を行った。市場での売却に際しても、金売却が責任ある形で行われていることを市場に請け合うため、高いレベルでの透明性が引き続き維持される。

金を売却する中央銀行のケースと同様に、IMF の金の保有量は毎月 [International Financial Statistics \(IFS : 国際金融統計\)](#) で報告されるとともに、IMF の四半期財務諸表でさらに詳細な情報が公開されている。

IMF の市場での金の売却に関する戦略の上で、市場の混乱の回避が引き続き最優先課題となっている。このことから売却に際しては、中央銀行金協定（CBGA）に参加している各中央銀行が成功裏に活用しているものと同様のアプローチを適応し、段階的に行うことになる。